



414  
A1632  
1



甲 號計表之註解

第四行ニ於テ示ス所ノ預算ノ完全ニ

ノモノニ非ズ然レバ其完全セサル品目件銘ヲ

明瞭スベキノ階梯ヲ造ラシカ為メ左ノ註解ヲ

下ス所ノモノナリ

若シ食邑創定ノ始計ニ着手スルノ其経営目途

カ半ハニ減ズル氏ハ此前提ニ示シタル計案ノ

品物ヲ需要スベキ土地ノ開耕モ亦随テ其半ニ

減スルノ必セリ而シテ其費用モ亦素ヨリ省減ス

ルノ本計ノ半ニ至ルベシ是レ乃チ此小表ニ於

飛騨縣

大蔵省

天正十一年四月  
大隈侯爵邸寄

示明スル所ハ、  
 然レ氏此始計ノ省減ヲ十  
 サントスルカタメ、食邑土地ノ買ヒ下ケテ減セ  
 ントスルハ到底無益ニ属スベシ何トナレバ其  
 始計ノ省減ハ素ト食邑結社ノ大小ニ関セスシ  
 テ而メ唯其食邑地ノ開耕面積ノ大小ニノミ関  
 涉スレハナリ今一層此ヲ明解セハ開耕地ノ面  
 積ヲ半減スル氏ハ即チ茲ニ示ス所ノ需要物品  
 ノ消費ヲ半減スルノ比例トス  
 右ノ如ク開耕地ノ面積ヲ省減スル氏ハ何  
 時カ其餘ノ地ニ開耕ヲ着手スベキヤ是レ蓋シ

食邑地主ノ後考ニ置クヘキモノナルヘシ  
 シ其地主ハ未耕ノ半地ニモ着手シテ之レヲ開  
 拓セントノ至情アツテ之レヲ互ニ相謀ルニ  
 至ルヘキカ或ハ他年政府ノ裁決ニ依リ或法  
 ヲ以テ各自之レヲ開耕セントスルニ及ブベク  
 ンカ○政府ニ於テハ其未耕ノ地ニ着手セシメ  
 ント決議スル氏士族ガ政府ニ對セル負債消却  
 ヲ了リタル日ヨリ一二年ノ後ニ於テ之レヲ始  
 メシムルヲ良シトスヘシ何トナレバ其持節ニ  
 一二年ノ至レ公夫迄士族ガ政府ノ償債ニ充

チリタル所ノ各自食邑ヨリ收穫タル  
其開全ヲ以テ容考ニ其食邑地中未耕地ノ開耕  
ニ着手スルヲ混ヘキカ故ナリ

本表欄内ニ示ス所ノ需要物品中第二号ハ若シ  
開耕ニ着手スベキ土地ノ面積ヲ減スルニ  
シク其數ヲ減スベシ然レバ方サニ減地ノ比例  
ヲ以テ之レヲ減スルニ及ハサルナリ○其他第  
三号ヨリ第十四号マテ并ニ第十九号ノ品物モ  
亦第二号ニ於ルト同ジカルベシ○第十五号ノ  
減省ハ士族食邑ニ関涉スルヨリモ華族ノ

ニ関スルヲ多シ何トナレハ華族カ其食邑ニ着手  
多ク使用約定ノ人夫ヲ以テ耕耘ヲナス可キカ故其華  
族着農ノ多數ニ依テ頗ル蓄馬ノ需要アルベキカ故  
ナリ其人夫ノ數タルヤ素ヨリ開耕ヲ着手スル土地ノ大  
小ニ関スルヲ必然ニシテ而シ其際士族ハ常ニ各自  
ノ全時間ヲ費シ(或ハ時間ノ幾部分欵)手ニ鋤鋤  
ヲ執テ自ラ其所有ノ地ヲ耕耘スベシ然リト虽尺抑  
モ此家畜ハ華士族兩ナカラノ農耕ニ於テ其助  
カラ受クヘキヲ大ニシテ欠ク可クサルニナリ  
此故ニ到底其需要ノ數ハ華士族着農ノ數又ハ

其家族ノ教ニ関スル唯此開農始計ノ施行ヲ節  
 減改考スルニ非ニハ敢テ減省ノ預言シ難シ○  
 第十六号ハ節度ヲ以テ減シ得ベシ何トナレハ  
 夫レ華士族カ蓄フヘキ家畜馬牛ノ教ハ冬季モ之  
 レニ與フヘキ秣物即チ穀類ノ如キモノヲ種植  
 スル土地ノ廣狹ニ依テ其多少アルノミ○第十  
 七号ハ此始計ニ使用スヘキ資本ノ金額ニ應シ  
 素ヨリ其差異アルベシ○第十八号ナル人夫ノ  
 給金食料モ亦此始計ヲ施行スル資本ノ多寡ニ  
 依シ其此例ヲ以テ之レニ増減アルヘクシ

ノ前キニ第十五号ノ需要ニ付開陳セシカ  
 此第十八号ニ於ケルモ亦此始計ノ節減ニ依  
 費用ノ差ヲ生スベキヲ明瞭ナルベシ然リ而  
 此始計ヲ施スノ地ニ於テハ華族ノ使用スル人  
 夫并ニ自ラ耕ヘス士族ノ外尚何人ニテモ第一  
 年按セシ始計ヲ末少ク迄ニ華士族ノ耕地ニ来リ  
 其家族ヲ移住スルヲ許サシムベキヲ要ス而  
 ノ衆カラ以テ其也ノ開耕稍ニ成ルニ及ヒ各人  
 并ニ家畜ノ食ニ供スベキモノヲ産スルヲ又宜  
 ナラスヤ此故ニ此件実ニ注意スベキノ重要ト

ト云ベシ。○第二十七及二十号ハ何レモ  
 ヲ其数変動アルベカラズ然リ。虽レ唯三五年  
 ノ後ハ此教員各能職シテ其定額ハ食邑地ノ費  
 用総計ニ入算スベシ何トナレハ僅年ノ后ハ食  
 邑ニ従事スルノ徒ガ教員并ニ助教ノ助ケナク  
 各其所有地ヲ耕シ得ベクシテ而シ且ツ其必需  
 ノ費用モ漸次増加スルカ故外國人教師并ニ内  
 國人助教員ヲ廃止スベキノ故ナリ。○第二十二  
 号ハ第二号ヨリ第十六號迄ニ於ルカ如キニ  
 例ヲ以テ需要ノ多寡ヲ異ニスベシ。○第二

号ハ縦令ニ開耕スベキ土地ノ面積ヲ減スル  
 敢テ差異アルベカラズ然レ其測量ノ事業ヲ  
 陸軍士工兵中熟手ノモノニ附シテ之レヲ為サ  
 シムルキハ必ス簡易ニ成功スベシ唯其測量ノ  
 業作中ニモ土地ノ質ヲ考ヘ植植物ノ當否如何  
 ヲ察スレバ兵科ノ為シ得ベキ所ニ非レバ此等  
 ノ了ハ別ニ至當専門ノ人ニ附托シテ行ハシム  
 ルモ益シ僅々ノ費用ニシテ足ルベキナリ

番  
語  
護

大  
痛  
省

